2009年3月期 第2Q決算説明会

2008年11月12日

宝ホールディングス株式会社

本日の構成

1. 宝ホールディングス連結
   - 2009年3月期 第2Q 中間報告
   - 決算レビュー
2. 宝酒造グループ （宝酒造連結）
   - 2009年3月期 第2Q 決算レビュー
   - 2009年3月期 通期　業績予想、活動内容
3. 宝ヘルスケア概況
4. 宝ホールディングス連結
   - 2009年3月期 通期 業績予想

1. 宝ホールディングス連結

- 2009年3月期 第2Q 事業概況
- 第2Q決算レビュー

第7次中期経営計画確認(2008.4～2011.3)

●基本方針

成長投資と株主還元を通じ、中核事業の持続的安定成長と、
成長事業育成の加速を実現し、企業価値の向上を目指す

●2011年3月期 財務目標

売上高2,000億円以上

経常利益100億円以上

	2008.3	2009.3計画
売上高	191,878	194,500
営業利益	8,506	8,600
経常利益	9,123	8,700
当期純利益	4,658	4,700

・FY2009(09.3月期)計画
原材料価格高騰による原価コストアップ11.2億円含む(宝酒造単体)
※コストアップ総額は運送費含め12.6億円
・FY2008(08.3月期)実績
営業外収益に、一過性の持分法投資損益4.7億円計上

●事業戦略

宝酒造グループ
・国内酒類事業の収益力の維持・向上
・国内外の伸びる市場へのチャレンジ

タカラバイオグループ
・遺伝子工学研究分野の事業拡大・安定化
・医食品バイオ分野の収益改善
・遺伝子医療分野における研究開発の推進

宝ヘルスケア社
・通信販売顧客の獲得

●財務戦略

・成長のための投資
(成長事業、収益力強化のための投資)
3ヶ年累計 100億円以上
・株主還元総額(配当＋自己株式の取得)
3ヵ年累計 100億円以上
・株主還元性向 50%以上

$$\frac{\text{株主還元総額(配当総額＋自己株式取得総額)}}{\text{みなし連結当期純利益}} \geqq 50\%$$

(連結経常利益－受取利息・配当金＋支払利息)×(1－法定実効税率)

宝HLD連結_2009年3月期第2Q事業概況

原材料価格の高騰　金融市場の変調　食の安全に対する不信　景気の冷え込み

酒類・調味料事業

- 更なる品質管理体制の強化
- 品質訴求商品の発売

本格麦焼酎「知心剣（しらしんけん）」、松竹梅「白壁蔵」＜生酛純米（きもとじゅんまい）＞

中核事業の基盤強化
～ 確固たる収益基盤の構築 ～

バイオ事業

- HSV-TK遺伝子治療（ドナーリンパ球輸注療法）　治験開始
  国内初の体外遺伝子治療　（国立がんセンター中央病院）

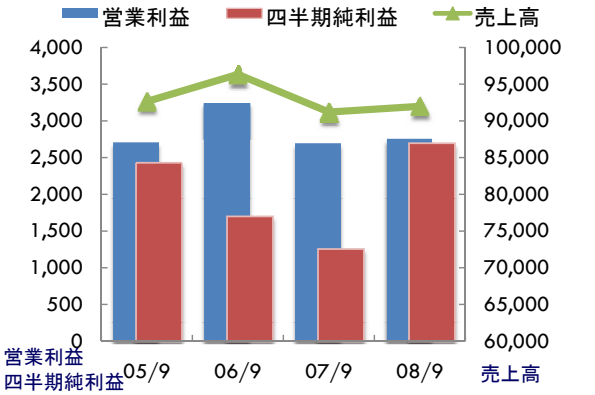
成長事業の進展
～我が国における遺伝子治療や
細胞治療の足場を築く第1歩に～

不安定な市場環境の中においても、将来に向けた布石を着実にうつ。

宝HLD連結_P/L概要（09年3月期第2Q累計）

（単位：百万円）	08/09 実績	前期比 増減	前期比 率(%)	期初計画比 増減	期初計画比 率(%)
売上高	**91,978**	**782**	**0.9**	**778**	**0.9**
宝酒造G	**80,637**	1,379	1.7	1,337	1.7
タカラバイオG	**8,927**	△ 475	△ 5.1	△ 274	△ 3.0
その他	**2,412**	△ 121	△ 4.8	△ 285	△ 10.6
売上原価	**57,377**	935	1.7	677	1.2
売上総利益	**34,600**	**△ 153**	**△ 0.4**	**100**	**0.3**
販管費	**31,851**	△ 217	△ 0.7	△ 748	△ 2.3
営業利益	**2,749**	**64**	**2.4**	**849**	**44.7**
宝酒造G	**2,471**	338	15.9	371	17.7
タカラバイオG	**△ 125**	△ 358	-	343	-
その他	**403**	84	26.5	134	50.0
営業外収益	**576**	△ 95	△ 14.2	△ 23	△ 4.0
営業外費用	**567**	△ 8	△ 1.5	167	41.8
経常利益	**2,758**	**△ 22**	**△ 0.8**	**658**	**31.3**
特別利益	**921**	57	6.7	621	207.1
特別損失	**469**	△ 963	△ 67.2	469	-
税前四半期純利益	**3,209**	**998**	**45.1**	**809**	**33.7**
法人税等	**580**	△ 342	△ 37.1	△ 819	△ 58.5
少数株主利益	**△ 63**	△ 102	-	36	-
四半期純利益	**2,692**	**1,443**	**115.5**	**1,592**	**144.8**

●利益・売上高推移＜第2Q累計＞　（単位：百万円）



●営業外・特別損益＜第2Q累計＞（　）前期比増減（単位：百万円）

支払利息141（+9）、社債利息164（+44）、
為替差損【計画外】106（+106）、
持分法による投資損失【計画外】24（+24）　等

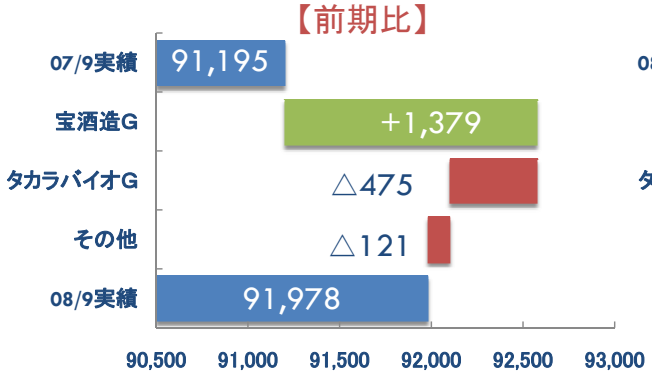
固定資産売却益【一部計画外】890（+882）　等
※前期：投資有価証券売却益583、持分変動利益184

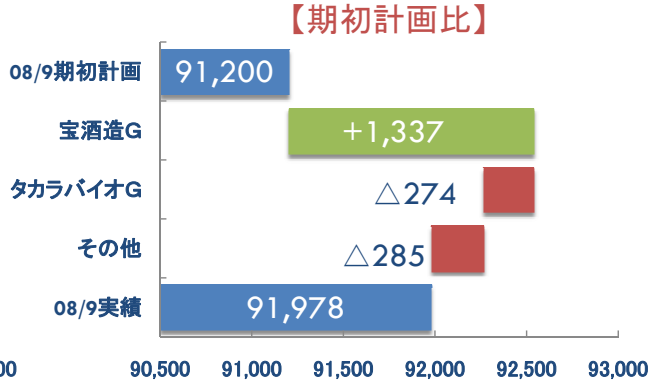
係争和解費用引当金繰入額【計画外】125（+125）、
棚卸資産評価損【計画外】95（+95）、投資有価証券評価損【計画外】105（+70）等　※前期：係争和解費用1,195

土地売却に伴い以前税務上損金不算入であった損失が確定し、繰延税金資産を計上

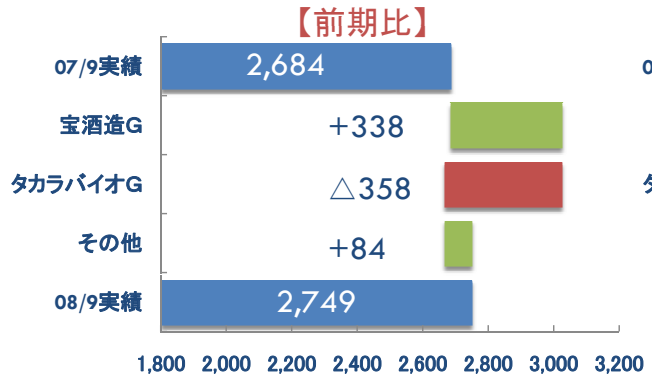
事業グループ別_増減分析（09年3月期第2Q累計）

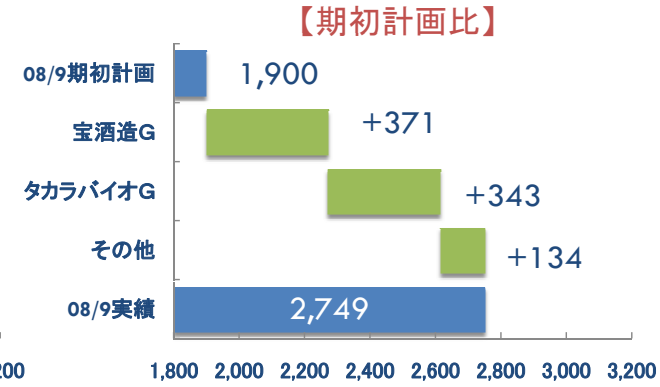
●売上高増減分析





●営業利益増減分析





宝HLD連結_B/S概要：資産（09年3月期第2Q累計）

（単位：億円）	08/03 実績	08/09 実績	増減
流動資産	**1,207**	**1,146**	**Δ 61**
現金及び預金	265	**235**	Δ 29
受取手形・売掛金	469	**464**	Δ 5
有価証券	181	**146**	Δ 35
たな卸資産	250	**252**	1
その他	40	**48**	7
固定資産	**870**	**821**	**Δ 48**
有形固定資産	473	**451**	Δ 22
無形固定資産	65	**52**	Δ 13
投資その他資産	331	**318**	Δ 13
投資有価証券	261	**244**	Δ 16
その他	70	**73**	3
資産合計	**2,078**	**1,968**	**Δ 110**

- 現金及び預金 → TH減少 35.0、他
- 受取手形・売掛金 → TS増加 9.1、TB減少 11.7、他
- 有価証券 → TS減少 30.6（宝酒造　譲渡性預金 減少30）、他
- 有形固定資産 → 有形固定資産の増減
  - 新規取得　16.3　（TS 10.0、TB 5.5、他）
  - 売却・除却等　△13.8
    （TH：土地売却　10.6）、他
  - 減価償却 △21.8（TS △15.4、TB △5.9、他）
  - その他増減 △2.9
- 無形固定資産 → TS減少 2.2、TB減少 11.0、他
- 投資有価証券 → TH減少 15.2（時価評価△14.0）、他

（TH:宝HLD、TS:宝酒造グループ、TB:タカラバイオグループ）

宝HLD連結_B/S概要：負債・純資産

（単位：億円）	08/03 実績	08/09 実績	増減
流動負債	**476**	**407**	**△ 68**
支払手形・買掛金	143	**144**	1
借入金・社債	99	**50**	△ 49
その他	233	**212**	△ 21
固定負債	**469**	**455**	**△ 14**
借入金・社債	257	**255**	△ 1
その他	212	**199**	△ 12
負債合計	**945**	**862**	**△ 82**
株主資本合計	**927**	**922**	**△ 5**
資本金・資本剰余金	164	**164**	0
利益剰余金	773	**779**	6
自己株式	△ 10	**△ 21**	△ 11
評価・換算差額等合計	**72**	**54**	**△ 18**
少数株主持分	**133**	**128**	**△ 4**
純資産合計	**1,132**	**1,105**	**△ 27**

1年内償還の社債 TH減少 50.0、他
第7回普通社債　50.0（08/05/15償還）

未払費用減少 11.1
未払法人税等減少　7.3
（宝酒造減少 6.5）、他

繰延税金負債 TH減少 12.9、他

自己株式取得 TH減少 11.1、他

2008年5月に市場買付にて取得
・取得株数　1,500,000株
発行済株式総数（自己株式を除く）に対する割合　0.69%
・取得金額　1,113,542千円

その他有価証券評価差額金 TH減少 8.3
為替換算調整勘定 TS減少 5.3、TB減少 6.4

（TH:宝HLD、TS:宝酒造グループ、TB:タカラバイオグループ）

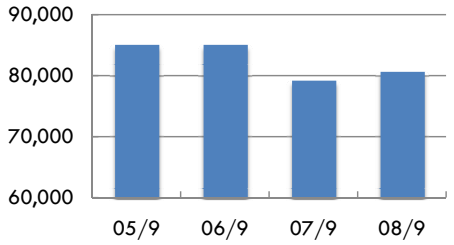
2. 宝酒造グループ

- 2009年3月期 第2Q 決算レビュー
- 2009年3月期 通期 業績予想、活動内容

宝酒造G_P/L概要（09年3月期第2Q累計）

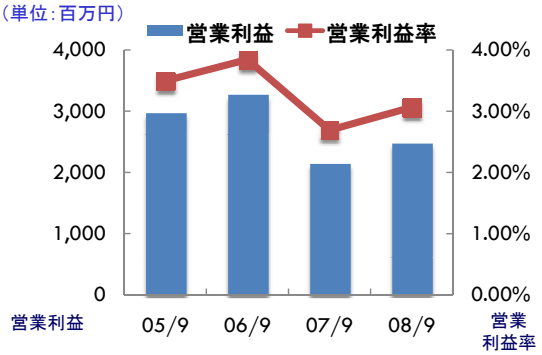
（単位：百万円）	08/09 実績	前期比 増減	前期比 率(%)	期初計画比 増減	期初計画比 率(%)
売上高	**80,637**	**1,379**	**1.7**	**1,337**	**1.7**
焼酎	37,600	890	2.4	1,075	2.9
清酒	8,055	△ 523	△ 6.1	△ 139	△ 1.7
ソフトアルコール飲料	10,923	388	3.7	△ 64	△ 0.6
その他酒類	5,566	155	2.9	508	10.1
本みりん	7,516	△ 120	△ 1.6	△ 103	△ 1.4
その他調味料	2,783	122	4.6	18	0.7
原料用アルコール等	2,334	329	16.4	8	0.4
その他	5,857	137	2.4	63	1.1
売上原価	51,628	1,395	2.8	1,028	2.0
売上総利益	**29,008**	**△ 16**	**△ 0.1**	**308**	**1.1**
販管費	26,537	△ 354	△ 1.3	△ 62	△ 0.2
運送費、保管料	2,935	55	1.9	△ 21	△ 0.7
広告宣伝費	1,895	△ 134	△ 6.6	△ 25	△ 1.3
販売促進費等	13,617	△ 171	△ 1.2	△ 8	△ 0.1
研究開発費	170	0	0.5	△ 19	△ 10.1
商標使用料	707	11	1.7	8	1.2
管理費、その他	7,211	△ 116	△ 1.6	3	0.1
営業利益	**2,471**	**338**	**15.9**	**371**	**17.7**

●売上高推移<第2Q累計>　（単位：百万円）



●営業利益・営業利益率推移<第2Q累計>

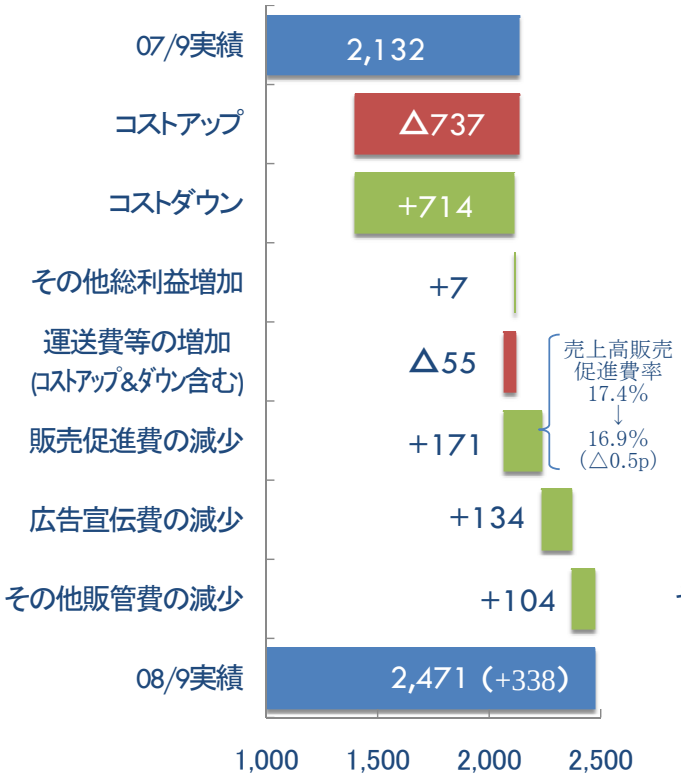
（単位：百万円）



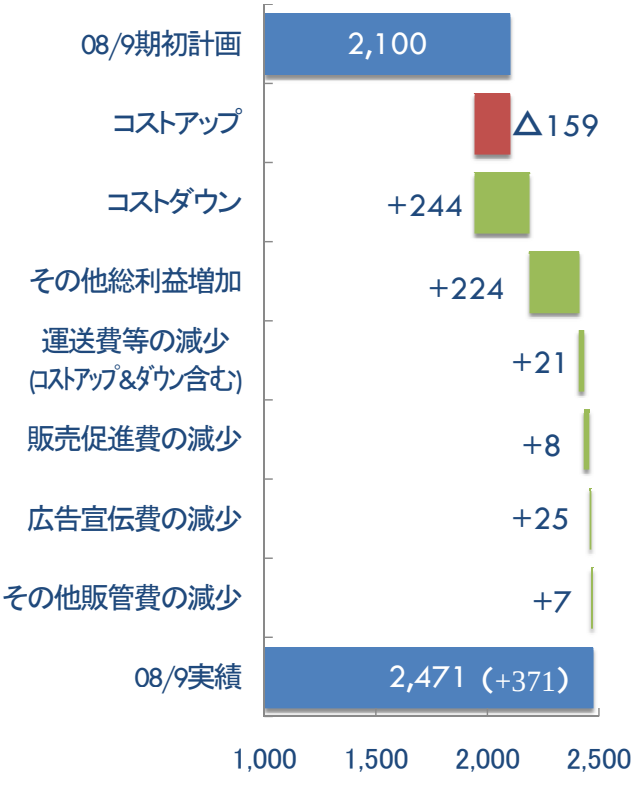
08/9実績	前期差	期初計画差
3．06%	+0.37p	+0.42p

宝酒造G_営業利益増減分析（09年3月期第2Q累計）

●前期対比<第2Q累計>



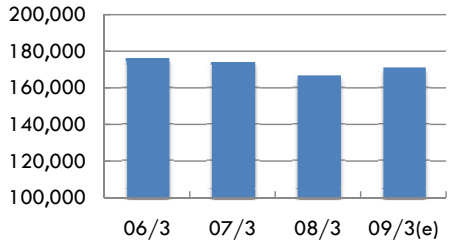
●期初計画対比<第2Q累計>　（単位：百万円）



宝酒造G_09年3月期通期　修正計画

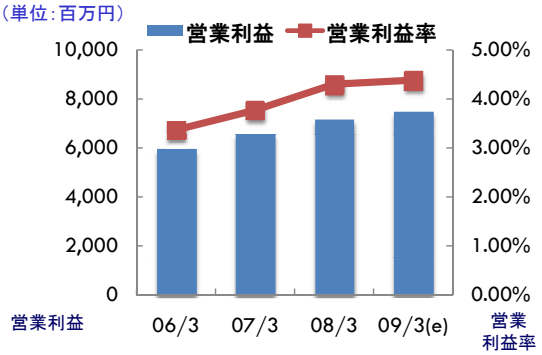
（単位：百万円）	09/03 計画	前期比 増減	前期比 率(%)	期初計画比 増減	期初計画比 率(%)
売上高	**171,000**	**4,211**	**2.5**	**2,200**	**1.3**
焼酎	**76,400**	2,720	3.7	1,784	2.4
清酒	**23,000**	△ 777	△ 3.3	△ 351	△ 1.5
ソフトアルコール飲料	**20,800**	865	4.3	△ 137	△ 0.7
その他酒類	**11,200**	△ 232	△ 2.0	297	2.7
本みりん	**16,300**	228	1.4	139	0.9
その他調味料	**5,900**	345	6.2	△ 1	△ 0.0
原料用アルコール等	**5,600**	699	14.3	290	5.5
その他	**11,800**	361	3.2	177	1.5
売上原価	**108,400**	3,581	3.4	2,200	2.1
売上総利益	**62,600**	**629**	**1.0**	**0**	**0.0**
販管費	**55,100**	307	0.6	0	0.0
運送費、保管料	**6,400**	335	5.5	132	2.1
広告宣伝費	**3,600**	△ 395	△ 9.9	△ 293	△ 7.5
販売促進費等	**28,700**	647	2.3	307	1.1
研究開発費	**400**	49	14.0	0	0.0
商標使用料	**1,500**	30	2.1	6	0.4
管理費、その他	**14,500**	△ 358	△ 2.4	△ 152	△ 1.0
営業利益	**7,500**	**322**	**4.5**	**0**	**0.0**

●売上高推移<第2Q累計>　（単位：百万円）



●営業利益・営業利益率推移<第2Q累計>

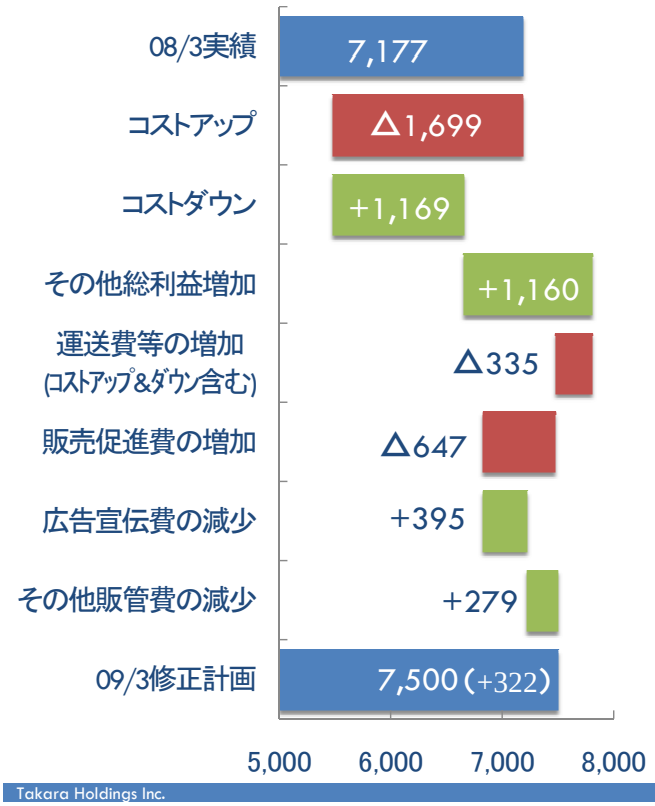
（単位：百万円）



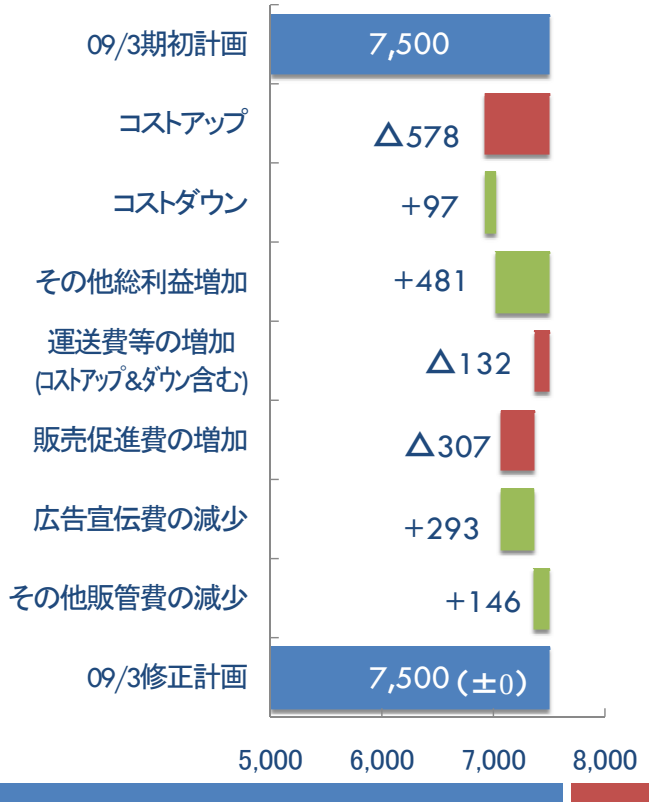
09/3実績	前期差	期初計画差
4．39%	+0.08p	△0.06p

宝酒造G_営業利益増減分析（09年3月期通期予想）

●前期対比<通期>



●期初計画対比<通期>　（単位：百万円）



原材料価格について

◆ コストアップの内容（原価）

・液糖、天然ガス、大麦、米 など　　期初計画　〈通期〉 11.2 億円

（上期）　5.8 億円

（参考）運送費コストアップ〈通期〉 1.4億円
（上期） 0.7億円

・期初計画外の増加
液糖、天然ガス、粗留アルコール、芋、紙パック など

期初計画対比

+5.8億円
（+1.6億円）

修正計画〈通期〉 17.0 億円

（上期）　7.4 億円

（参考）運送費コストアップ〈通期〉 1.9億円
（上期） 0.6億円

昨今の原材料価格の動向はすぐには寄与せず。（タイムラグが存在）

■（参考）商品の価格改定　・08年6月：本格焼酎（芋、麦）、中国酒
・09年3月：本みりん

今後への布石

更なる品質管理体制の強化

- 原料、製品分析の徹底
- 調達ルートの安全性確保

品質訴求商品の上市

- 本格麦焼酎「知心剣（しらしんけん）」
- 松竹梅「白壁蔵」＜生酛純米（きもとじゅんまい）＞

①更なる品質管理体制の強化

これまでの品質管理の水準を、さらにレベルをあげ実施していく。

原料・製品分析の徹底

- 製品の検査
  各工場に、LC-MS/MS等の分析機器を設置し、従来の検査より頻度をあげ、生産ロット毎の検査を実施
- 原料の分析
  残留農薬等の微細な分析を、各工場においてロット毎に実施
- 宝酒造食品（北京）、米国宝酒造（カリフォルニア）においても、国内と同水準の品質管理体制にレベルアップしていく方針

調達ルートの安全性確保

- 全ての原料サプライヤーに対し、これまで以上に安全性確認を実施
- グループ会社や提携会社に対しても、宝酒造と同水準の安全性確保を指導する。

②本格麦焼酎「知心剣（しらしんけん）」

開発の方向性

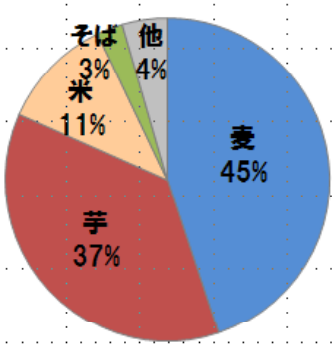
『香り高く、飲みやすい』

製法
全量麦麹仕込（黒麹）
独自の低温蒸留
独自の貯蔵方法
濾過方法

原材料
国産二条大麦100%使用

製造元
藤居酒造（大分県臼杵市）

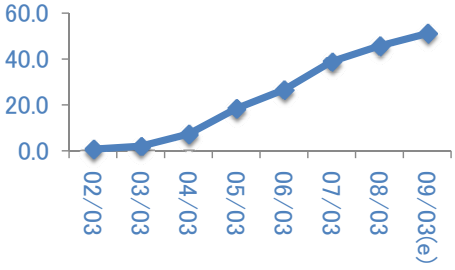
【本格焼酎原料別構成比】
（2007CY課税移出数量）



育成の方向性

- 全量芋焼酎「一刻者」に続く、重要な商品として育成
- 業務用ルートで先行発売
- 品質に根ざしたブランドイメージを醸成

【一刻者売上高推移】（億円）



③松竹梅白壁蔵生酛純米

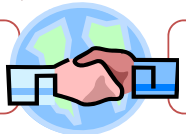
開発の方向性

『米の旨みを引き出した、
まろやかでやわらかい味わい』

製法　生酛造り　（※製法等は文末参照）

清酒造りに必要な乳酸を自然につくり出す
江戸時代からの伝統的な製法

最新鋭の
オリジナル設備



微生物
管理技術力

育成の方向性

- 徹底した品質訴求
- 日常的な「ハレの日」の需要開拓

◆「松竹梅白壁蔵」（神戸市東灘区）

2001年10月完成
伝統的な手造りの原理を再現した最新鋭の設備での酒造りと、それとは対照的にほとんどを人の手で行なう酒造りの両方を併せもつ蔵で、主に、純米酒、吟醸酒といった特定名称酒を中心に製造。

その他の活動内容

純の育成

- 品質訴求の継続と「純」の実体験の場の創出

＜純’sバー 名古屋＞

一刻者の育成

- 通常品を核としたブランド育成の継続
- 石蔵甕貯蔵拡売によるブランドイメージ向上

加工業務用調味料

- 原料高騰に伴い厳しい市場環境
- 経済性と機能性を兼ね備えた新商品を投入し、拡売に注力

海外事業

- （米国）想定以上の原材料価格の高騰と景気の冷え込み
- （中国）調味料：市場の縮小
- 新たな販路の拡大に注力

3. 宝ヘルスケア社概況

第2Q事業概況と今後の方向性

第2Q事業概況

- 通販ルート　フコイダンを中心に定期配送コースの顧客数が順調に増加。通販ルートの売上高は期初計画を達成。前期比+30.3%と大幅に伸長
- 入り口商品である「フコイダンサプリ50」が顧客増を牽引
- バルク、OEMにおいて売上高が大きく減収。寒天の漸減傾向も継続し、健康食品分野の売上高は前期比未達

TaKaRaフコイダンサプリ50

今後の方向性

【フコイダン】

- 「サプリ50」大規模広告出稿による間口の拡大
- 更なる事業成長のための新製品投入・育成

【その他】

- 健康通販ショップサイトの刷新
- 新商品投入・育成

通期修正計画

健康食品分野売上高
前期 7.48億円　⇒ **当期 8.52億円**
（前期比＋13.9%）

4. 宝ホールディングス連結

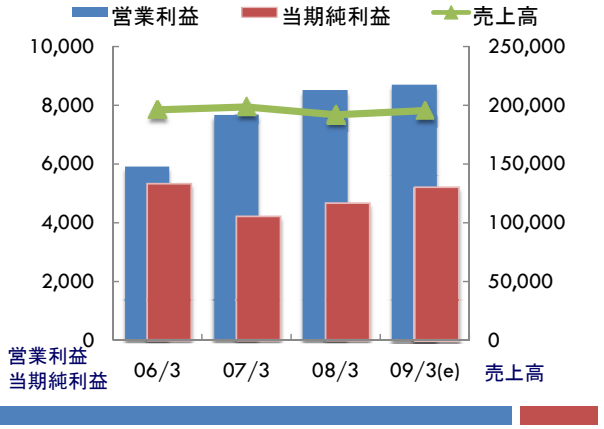
● 2009年3月期 通期 業績予想

宝HLD(連結)_09年3月期通期 修正計画

（単位：百万円）	09/03 計画	前期比 増減	前期比 率(%)	期初計画比 増減	期初計画比 率(%)
売上高	**195,400**	**3,521**	**1.8**	**900**	**0.5**
宝酒造G	**171,000**	4,211	2.5	2,200	1.3
タカラバイオG	**19,550**	△ 728	△ 3.6	△ 749	△ 3.7
その他	**4,850**	38	0.8	△ 550	△ 10.2
売上原価	**120,500**	2,635	2.2	1,600	1.3
売上総利益	**74,900**	**885**	**1.2**	**△ 700**	**△ 0.9**
販管費	**66,200**	692	1.1	△ 800	△ 1.2
営業利益	**8,700**	**193**	**2.3**	**100**	**1.2**
宝酒造G	**7,500**	322	4.5	0	0.0
タカラバイオG	**200**	△ 360	-	100	-
その他	**1,000**	231	30.2	0	△ 0.0
営業外収益	**1,000**	△ 730	△ 42.2	0	0.0
営業外費用	**1,000**	△ 113	△ 10.2	100	11.1
経常利益	**8,700**	**△ 423**	**△ 4.6**	**0**	**0.0**
特別利益	**900**	△ 690	△ 43.4	600	200.0
特別損失	**1,400**	△ 991	△ 41.5	1,200	-
税前四半期純利益	**8,200**	**△ 121**	**△ 1.5**	**△ 600**	**△ 6.8**
法人税等	**2,900**	△ 493	△ 14.5	△ 1,100	△ 27.5
少数株主利益	**100**	△ 170	-	0	-
当期純利益	**5,200**	**541**	**11.6**	**500**	**10.6**

●利益・売上高推移〈通期〉

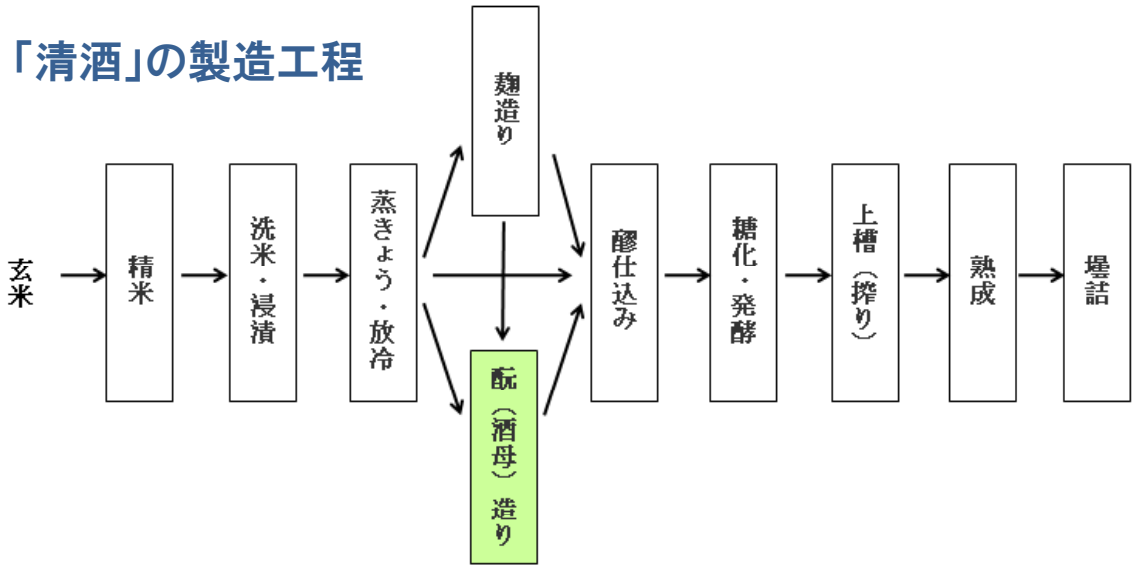
（単位：百万円）



「生酛造り」参考資料①

酛（酒母）とは

● 「清酒」の製造工程

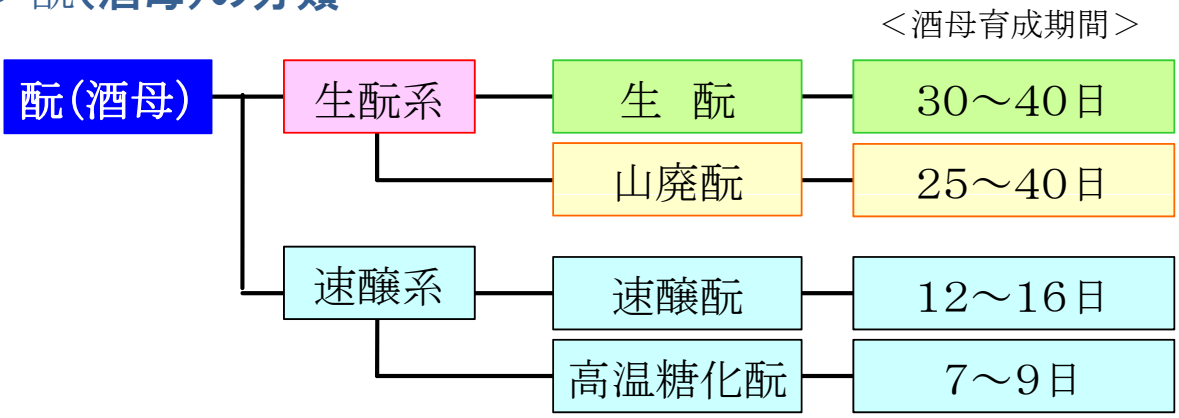


水と麹、蒸米を加えたもので、アルコール発酵に必要な酵母を純粋に大量に増殖させたもの。昔から「1麹、2酛（酒母）、3造り」といわれ、酛（酒母）は酒の味わいの方向性を決める重要な要素の一つとされています。

「生酛造り」参考資料②

「生酛造り」とは

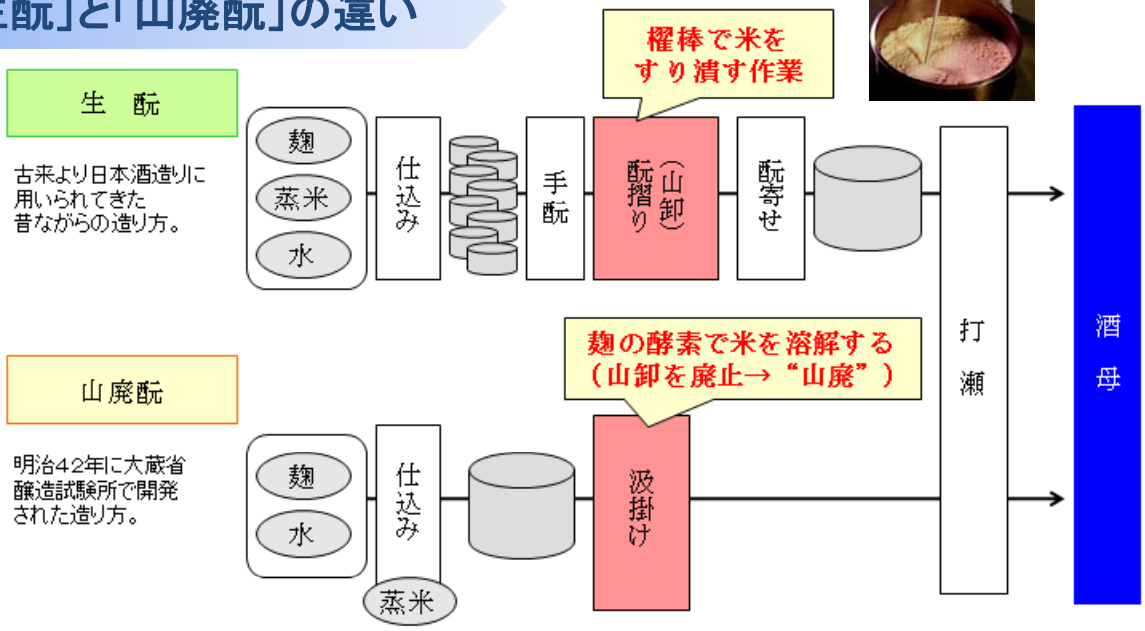
● 酛（酒母）の分類



昔ながらの酛（酒母）育成方法のことで、清酒造りに必要な乳酸を自然につくり出す製法。酛（酒母）のうち「生酛系」は乳酸菌を自然に増殖させ、その乳酸菌の生成する乳酸が雑菌の増殖を抑制するため酒母育成期間が長く、「速醸系」はあらかじめ乳酸を加えることで雑菌の増殖を抑制するため、酒母育成期間は短くなります。

「生酛造り」参考資料③

「生酛」と「山廃酛」の違い



「生酛」の製造工程では、櫂棒で米をすり潰す「酛(もと)摺(す)り」の工程が特徴です。
一方、「山廃酛」の製造工程では、「生酛」の工程の初期段階で行われる
「酛摺り（山卸）」という工程を廃しています。

資料中の当社および当社グループの現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現時点において入手可能な情報から得られた当社経営陣の判断に基づくものですが、重大なリスクや不確実性を含んでいる情報から得られた多くの仮定および考えに基づきなされたものであります。実際の業績は、さまざまな要素によりこれら予測とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。
実際の業績に影響を与える要素には、経済情勢、特に消費動向、為替レートの変動、法律・行政制度の変化、競合会社の価格・製品戦略による圧力、当社の既存製品および新製品の販売力の低下、生産中断、当社の知的所有権に対する侵害、急速な技術革新、重大な訴訟における不利な判決等がありますが、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。

＜お問合せ＞
宝ホールディングス株式会社　IR室
E-mail　ir@takara.co.jp